

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立中央小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

所在地 〒920 - 0865
石川県金沢市長町1丁目10番 35号

E-mail chuuou-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://www/kanazawa-city.ed.jp/chuuou-e/

幼児児童生徒数 男子 265名 女子 266名 合計 531名
幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

(1) 活動概要

本校では、総合的な学習の時間や生活科を中心に各教科との連携を図りながら、地域の「人・もの・こと」とかかわり合い、自分を見つめ直す学習を通して、それらのよさを再発見、再評価するとともに、自ら考え判断し行動する力と豊かな心を育てている。また、地域の環境や伝統文化に関心を持ち、調査等を通して自然環境の保全や伝統文化等を継承発展していく持続発展可能な社会の担い手を育成することをねらい、学習を進めている。

そして、以下のことを目標に取り組んだ。

地域の自然環境、伝統文化との出会い(体験)を通して、地域や人々のよさを発見(再発見・再評価)し、地域により一層愛着をもつとともに、自然環境を守ったり伝統文化を継承するために自分達にできることを考え、行動していくことができるようにする。

(総合的な学習の時間の内容充実)

問題意識をもって調査・体験し、整理・分析しながら、さらに新たな問題意識を生み出し、探究していくことができるようにする。

(総合的な学習の時間のより探究化)

地域の自然環境や伝統文化について考えたことを、相手意識をもって表現し、発信・交流する中で、それぞれの地域の特性や取り組みのよさを知り、自分達にできることについて改めて考えることができるようにする。(ネットワーク化)

① 第3学年 近江町市場の人気のひみつをさぐれ

130年以上の歴史を誇り、観光客にも人気のある近江町市場は、校区にありながら子ども達の意識はそれほど高くない。そこで『近江町の人気ひみつ』をキーワードに学習を行った。まず予想をもとに、近江町を見学したり、お客さんにインタビューをしたりしてひみつを探っていった。見学後は、調査した。学習の最後には、近江町の人気ひみつをカルタで表し、互いに交流することで学習を深めるし、深めることができた。

② 第4学年 ふるさと再発見 ～用水調査隊～

学校のそばには、鞍月用水と大野庄用水が流れている。用水は身近な存在だが、子ども達は用水がどこから流れてきてどこへ行くのか、なぜ作られ、どのようなことに使われているかは知らない。そこで、用水について調べていくことにした。まず、用水の取水口まで歩いて行ったり、校区内の用水を観察したりして調べた。見ただけでは分からないことも多かったので、市役所の方から話を聞いて調べた。子ども達は、用水が生活の中で大変役に立っていることや多くの人の努力によって用水が守られていることを知り、自分たちも用水を大切にしたいと考えるようになった。

③ 第5学年 金沢の食文化を学ぶ

金沢の代表的な郷土料理である「治部煮」を調べ、作り食べることを通して、金沢の食に興味を持ち、各自で調べたい食に広げていった。

国語の「すいせんします」とつなげて、多くの食の中から一つ選びすいせんする理由や説得力を持たせるような資料を提示しながらスピーチをすることができた。さらに、いろいろなスピーチを聞くことを通して金沢は、和菓子や加賀野菜を中心とした豊富な食文化があることに気づくことができた。

④ 第6学年 金沢歴史探訪

金沢の歴史ある建造物について本やパソコンで調べ、その後グループごとに自分たちで計画を立て、見学や聞き取りを行った。分かったことや見所について一人ひとりパワーポイントを用いてまとめた。実際に見学したり、調べたことを交流したりする中で、子ども達は、今まで知らなかった金沢の良さについて気づくことができた。また、自分達が暮らす金沢の良さをこれからも残していきたいと考えるようになった。調べたことや考えたことは、校内放送を用いて全校に発信することができた。

3年 近江町インタビュー

4年 用水見学



5年 治部煮作り

6年 調査活動

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他 ()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながり尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

金沢ふるさと偉人館 華やか金沢

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

主に総合の教育課程に位置づけている。
指導内容も、児童が「考えたい・調べたい」という意欲が出るような指導工夫に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取り組みを行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

総合掲示板を作り、他学年がどんな取り組みをしているかを視覚的に分かるようにする。
学びの成果物も掲示し、縦列的に学びの足跡が見られるようにする。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

内部評価・・・学校研究と絡めて、評価する
成果・・・児童が見通しや意欲を持って、取り組めるようになってきた。
課題・・・活動が主になるのではなく、活動を通してどんな力を付けたいのかを明確に把握し、共通理解して取り組むことが必要。
学んだことをまとめ、発信するためには、具体的な相手意識をもたなければならない。発信する相手を意識した説得力のある成果物にまとめる力や、より分かりやすく発信できるような豊かな表現力・言語力の育成も今後の課題である。そのために、普段の教科学習の中で言語活動を充実させたり、「金沢ふるさと学習作品展」や「金沢ユネスコスクール子どもサミット」への参加を意欲付けの一つとして一層活用したりしながら、より豊かな表現力・言語力を育成していきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ESDの視点を取り入れて地域や地域にくらす人々と積極的にかかわる活動を継続してきたことで、それらのよさを実感し、より一層地域に愛着をもつようになった。また、地域が抱える課題についても気づき、その解決策を考えようとする意識が高まった。更に、何をどんな方法で調べていくかを自分達なりに考えたことは、問題解決力の育成につながった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

なし。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

なし。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

なし。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

学 年	総合的な学習の時間・生活科	関連する教科
第 1 学年	むかしからつたわるあそびをたのしもう	じぶんでできるよ（生活）
第 2 学年	どきどきわくわくまちたんけん つたわる広がるわたしの生活	かんさつ名人になろう（国語）
第 3 学年	金沢の伝統行事を学ぶ 夢未来ふるさと応援隊 ～近江町市場の人気のみみつをさぐれ～	電気の通り道（理科） 店ではたらく人（社会）
第 4 学年	金沢の伝統工芸 ふるさと再発見 ～用水調査隊～ 金沢の偉人	電気の働き（理科） 金属・水・空気と温度（理科） 用水をひらく（社会） 住みよい暮らしを作る（社会）
第 5 学年	つなげよう！奥山・里山とわたしたち 金沢の食文化を学ぶ	流れる水の働き（理科） 次への一歩～活動報告書～（国語） 私たちの生活と環境（社会） これからの食料生産と私たち（社会） 食べて元気に（家庭科）
第 6 学年	中央校区環境白書 金沢歴史探訪 かなえようわたしの夢	電気とわたしたちの暮らし（理科） 生物と環境（理科）
児童会	東日本大震災支援 ～アルミ缶リサイクルによる被災地支援～	